



相模  
県  
議会

さむかわ

# 議会だより

第209号

令和6年2月1日  
発行



さむかわ中央公園周辺の様子(町ドローンにて撮影)

## 12月会議

### CONTENTS

- |            |     |
|------------|-----|
| ● 議案審査     | P 2 |
| ● 一般質問     | P 5 |
| ● 議会TOPICS | P10 |

## ● 12月会議 ●

# 寒川町のこんなことが

# 決まりました。

12月会議 会議期間 11月28日から12月15日

## 12月会議の議案は

### 町長提出議案・・・14件

今号では  
この中から  
3つを  
**Pick up**

※議案の会議録については2月下旬にホームページに公開します。

〈議案第03号〉

Pickup **1**

### 保育所等での使用済み紙おむつ処分を 支援します

国からの事務連絡を受け、来年度以降の保育所等での紙おむつ処分実施に伴い、紙おむつ用のゴミ箱購入経費に対する補助金を交付するため、予算を追加するものです。

こんな質問がありました

**Q** 紙おむつの処分は、全ての保育所等で実施されるのか。

**A** 町の保育所等9施設のうち、すでに4つの施設で実施されており、令和6年度以降、全ての保育所等で実施する予定です。

こども家庭庁が提唱する「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、令和5年10月1日付で町がこどもまんなか応援サポーターに就任したことも踏まえ、紙おむつを保育所等で処分できる環境を、早急に整えていきます。



こども家庭庁 HPより

〈議案第68号〉

Pickup 2

コンビニエンスストアにおける  
証明書等取得が便利になります

国の法改正により、マイナンバーカード用の利用者証明用電子証明書とは別に、スマートフォン用の利用者証明用電子証明書が創設されたことを受け、スマートフォンで証明書等を取得できるよう、寒川町印鑑条例の一部を改正するものです。

こんな質問がありました

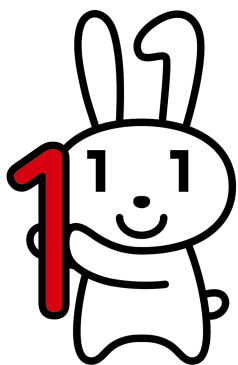
Q 実際にコンビニエンスストアにおいてスマートフォンによる取得ができるようになるのは、いつからか。

A 現在のところ国からは12月下旬と通知されており、今後はつきりとした日程が示されます。

Q スマートフォン用の利用者証明用電子証明書の有効期限は。また一人につき搭載できるスマートフォンの台数、取得できる証明書等の種類は。

A マイナンバーカード用の利用者証明用電子証明書と同じ有効期限です。

また一人につき1台のみ搭載が可能で、住民票および印鑑登録証明書が取得できます。



〈議案第71号〉

Pickup 3

寒川総合体育館サブアリーナと武道場で  
冷暖房設備が使えるようになります

シンコースポーツ寒川アリーナ（寒川総合体育館）のサブアリーナおよび武道場へ新たに冷暖房設備を設置することに伴い、施設区分や利用時間、利用料金等を定めるため、寒川町都市公園条例の一部を改正するものです。

こんな質問がありました

Q 冷房設備と暖房設備で、金額が同一なのはなぜか。

A 今回設置する空調設備では、冷房と暖房に係る光熱費がほぼ同一のため、差は設けていません。

Q 町民と町民以外で、利用料金に差は設けているのか。

A 町民と町民以外での利用料金の差は設けていません。

(冷暖房設備利用料金)

施設区分		金額 (1時間あたり)	
冷房設備 暖房設備	サブアリーナ	2,000円	
	武道場	1/2面	750円
		全面	1,500円

令和5年第1回定例会 12月会議 審議結果

議案番号	議案	会派名 議決結果	さむかわ自民党				大志会				フォーラム寒川		日本共産党		公明党			小泉秀輔	橋本修一
			横手旭	岸本優	吉田悟朗	天利薫	新村賢志	山上秀樹	佐藤一夫	茂内久代	柳田遊	柳下雅子	青木博	山田政博	太田真奈美	黒沢善行	関口光男		
63	令和5年度寒川町一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
64	令和5年度寒川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
65	令和5年度寒川町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
66	令和5年度寒川町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
67	令和5年度寒川町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
68	寒川町印鑑条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	
69	寒川町一般職の職員の給与に関する条例及び寒川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
70	寒川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
71	寒川町都市公園条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
72	寒川町健康管理センターの指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
73	町道路線の認定	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
74	町道路線の廃止	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
75	令和5年度寒川町一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
76	寒川町福祉活動センターの指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○:賛成 ●:反対 (天利議長は、表決に加わりません。小泉議員、橋本議員は会派に属さない議員です。)

本会議・委員会の記録

本会議・委員会の記録を次の二次元コードからご覧いただけます。

本会議  
の記録



各委員会  
の記録



議案・  
陳情等の  
資料



可決された  
意見書・  
決議





橋本 修一 議員

### 発達障がい者（児）、 児童発達支援について問う



**Q** 職員研修への取り組みは。

**A** 教職員については、県や町、特別支援学校等にて多くの研修を行います。また、毎年度、町教職員が県立特別支援学校に人事交流として勤務しています。町職員については、県の専門機関が実施している研修に参加し、専門的知識を高めています。

**Q** 早期発見・早期支援体制の課題と対策は。

**A** 発達障がいは、人によって障がい特性が複数重なり合っていたり、年齢や環境により変化が見られたりするなど、一人一人の状況に応じた適

切な支援の提供が課題と捉えます。

町では、乳児家庭全戸訪問や乳幼児健診、相談事業など、お子さんの成長に合わせて実施している事業を通じて、保護者からの相談や健診結果、健診時の様子などから、発達障がいの早期発見に努めています。また、必要に応じて、関係課や教育委員会と連携を図りながら支援を行っています。

### 市街化調整区域の 環境について問う

#### 環境について問う

**Q** 農地転用後、景観が変わり町民の不安の声などに対して町の対応は。

**A** 個々の土地利用について、是正を求めるなど、町が直接指導することは難しい状況ですが、農地の転用をされた方をはじめ、その地域で生活されている方、また農業を営まれている方など全ての方が生活しやすい環境を整えていく必要があると考え、さまざまなご相談に対し、町としてできる限りご協力をさせていただきたいと考えています。



山上 秀樹 議員

### 神奈川県当事者目線の 障害福祉推進条例について問う



**Q** 県当事者目線の障害福祉推進条例が施行された。町の取り組みは。

**A** 県条例の理念を強く意識し、実効性のある施策を進め、ともに生きる社会の実現に向け、県と共にしっかりと取り組んでいきたいと考えます。

**Q** この条例の基本理念は。

**A** これまでの障がい福祉の在り方が見直され、当事者目線の障がい福祉施策に転換していくことが重要で、それを実現するための普遍的な規範として、制定されたと認識します。

**Q** 条例施行に当たり、その目的は。

**A** 当事者目線の障がい福祉推進を掲げ、誰もが喜びを実感することができる地域共生社会の実現を目的とし、関係する全ての人々が本人の気持ちになつて考え、本人の望みを大切に、自分の意思で、必要な支援を受けつつ、住み慣れた地域で暮らせる社会をつくることだと理解します。

**Q** 地域共生社会実現に向けて、町の取り組みは。

**A** 町障がい者福祉計画の基本目標の一つとして、お互いを尊重し理解し合えるまちづくりを掲げています。

広報啓発活動の推進や、障がい者団体等と協力して、障がいのある人の手作り品等の展示即売会を開催し、町民との触れ合いの場を提供することで、理解促進を図るなど、地域共生社会の実現に取り組んでいます。

**Q** 次期障がい者福祉計画では、関連した施策は盛り込まれているのか。

**A** 県の基本計画の策定状況に応じて、次期計画に関わる部分については、計画への反映について検討していきたいと考えます。



神奈川県HPより  
(<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/74476/minnadeyomerutojishamesenjorei2han.pdf>)



小泉 秀輔 議員

## 町民の移動手段を守るために 公共交通の維持と発展を



**Q** 相模線の複線化について町の取り組みは。

**A** 県をはじめとした沿線市町、経済団体で構成された相模線複線化等促進期成同盟会において、毎年度、国土交通省関東運輸局、国土交通省鉄道局、東日本旅客鉄道株式会社へ相模線複線化の早期実現に関する要望を行っています。

**Q** 自動運転バスの実証運行について町も検討すべきでは。

**A** 実証運行ならびに自動運転バスについては、昨今、さまざまな研究や実証実験が行われ、運転手不足解決の一つとして期待が寄せられるものと認識しています。

今後、コミュニティバスのみならず、公共交通の自動運転については、採算性などの課題を認識しつつ、町への導入の可能性を踏まえ、調査研究の必要があると考えます。

**A** コミュニティバスの課題解消に



愛知県日進市の自動運転バス

については、現在、策定を進めています。寒川町地域公共交通計画を基本に、利便性向上に向けた運行ルール、ダイヤ、適正な受益者負担等、さまざまな要素を十分に考慮した上で、検討を進めていく必要があると考えます。

**Q** 乗合タクシー・デマンド型について町の検討は。

**A** デマンド型乗合交通などの導入も選択肢の一つとして、さまざまな要素を十分に考慮した上で、検討を進めていく必要があると考えます。



柳田 遼 議員

## 次世代の子ども達の将来に 重要な英語教育の成果を問う



**Q** 学校英語教育の歴史は文化や技術の発展を支えてきた背景から文法訳読法が主流であったが、グローバル化の時代変化と共に実践的に英語を話す能力が求められる令和2年改訂の新学習指導要領は英語教育改革と言えるものであった。県域で唯一の

取り組みである全校FLT配置等、町のグローバル教育推進事業は3年目を迎え、現代英語教育の課題解決の取り組み成果が問われる。児童生徒のために町はどのように最適な英語教育環境をつくるのか。

**A** 町教育委員会では、明るい未来を切り開いていくことができる子ども達の育成を目指し、質の高い外国語教育の展開と学校生活全般における外国語を使用する機会の充実を掲げています。

令和2年度から小学校の新学習指導要領の全面実施に伴い外国語が教科化されました。令和3年度からはFLTが各小・中学校に常駐することになったことで、外国語の授業の

※FLT＝外国人指導者。

質が向上し、常に本物の英語や多文化に触れる機会が生まれ、子どもたちがFLTと話し、コミュニケーションを取ろうとする姿も多く見られています。

小学校段階において英語が好き、楽しいと感じることで、中学校での英語への学習意欲につながり、英語教育実施状況調査からも英語力の向上が見られるなど、取り組みの成果が出ていると感じています。

今後も英語教育の質の向上に取り組む、より良い英語教育の環境をつくっていきます。



令和5年12月に行われたFLT集中派遣の様子



### 地球沸騰化による気候変動 町は環境対策に取り組み



**Q** 新しい取り組み「ゼロカーボン推進対策設備等導入補助金」とは。

**A** これまでのエネファームへの補助だけでなく、太陽光発電システム、蓄電池、電気自動車など、補助対象設備を拡充したものです。

**Q** さらに補助対象設備を拡充する考えは。

**A** 脱炭素化の推進に資する設備等が新たに出てきた場合には、追加していくことを検討したいと考えます。

**Q** 2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロの目標達成に向け、町民の意識改革も必要と考えるが。

**A** 脱炭素化に取り組みなければ気

候変動の影響がより大きなものとなり、私たちの暮らしがより一層脅かされてしまう可能性が高いことを強く訴えていく必要があると考えます。

積極的な周知啓発に努め、気候危機への対策を人任せにしない、自分事として捉えてもらえるよう、意識の醸成を図っていききたいと考えます。

### 町は積極的な平和事業推進を

**Q** 試行錯誤してきた平和事業の取り組み内容と、若者への思いを問う。

**A** 平和パネル展の展示内容を変えたり回数を増やしたりするなど、平和の尊さや大切さを確実に伝えられるよう努めています。若い世代にも平和事業に参加していただけるようアピールしていきたいと考えます。

**Q** 平和事業の新たな取り組みは。

**A** 原爆被災者の方の講演を検討するなど、さらなる平和思想の普及啓発のため、他自治体の事例を参考に調査研究していきたいと考えます。



### 安全安心な自転車の 通行環境整備をせよ



**Q** 近隣自治体でも自転車活用計画等を策定しているが、町での計画の進め方に必要なことは。

**A** 自転車の交通に関する計画の策定については、現在進めている寒川町地域公共交通計画を踏まえ、取り組みを進めます。

**Q** さがみグリーンラインの進捗と今後の予定は。

**A** 先行整備区間のうち約6・1キロメートルが供用されています。未整備区間については、整備の具体的な時期は示されていません。

**Q** 自転車の交通安全教育はどのよ

うに行っているのか。

**A** 町内の全小学校1年生と3年生を対象に交通安全教室を開催し、交通安全に対する意識付けを行っています。

### 安心できる道路維持管理をせよ

**Q** 舗装維持修繕計画の進捗と今後の予定は。

**A** 令和3年度から令和7年度までの5カ年計画は計画どおり進捗しています。今後は令和8年度以降の計画的修繕のため、次のメンテナンスサイクルの準備を進めます。

**Q** 停止線など白線が薄くなった道路標示の補修の現状と今後の予定は。

**A** 白線などの道路標示には、道路管理者である町と、交通管理者である神奈川県公安委員会が設置・管理するものがあります。県においては、おおむね6割が消えている横断歩道について、本年度中に約90%の補修を進め、来年度中には補修の完了を目指しているとのこと。



茅ヶ崎市内の自転車専用通行帯



新村 賢志 議員

## 町の幼児保育の未入所児童・待機児童について問う



町の幼児保育に関して各園との連携を取り、リーダー的な役割を持つ公設の保育施設があっても良いのではないかと。また、町として保育士を採用するなど、責任を持つ必要があると思うが、町の見解は。

A 平成26年度に、町内にありまして認可保育所は、公設民営から民設化しました。民設化に至るまでには、公募の町民や学識経験者が入る検討委員会、パブリックコメントや保護者説明会などでさまざまな意見を頂き、議論を重ねて決定したものです。現在は、公設公営の保育所を新

たに設置する考えはありません。今年度から、町内の幼稚園、保育所等の園長をメンバーとする会議が開催され、共通の課題などを検討し、情報共有をしています。また、町は指導監督する立場なので、認可や確認に伴う監査、各施設からの事故等の報告、保育コンシエルジュによる各施設への訪問により、状況を把握し連携を取ることで、町としても責任を果たしていると考えます。

町は指導監督する立場なので、認可や確認に伴う監査、各施設からの事故等の報告、保育コンシエルジュによる各施設への訪問により、状況を把握し連携を取ることで、町としても責任を果たしていると考えます。

### 学力向上のために

#### 公営学習塾の認知度向上を

公営塾に対する町民の認知度向上のため、親への情報発信や周知方法を増やし、受講する子どもが増えるようにするべきではないか。

A 町民センターで社会教育事業として開催している「こども学習会」については、募集チラシを町内の各小・中学校を通じて対象学年のご家庭に配布しています。今後は、町公式LINE等も活用して、周知の拡大を図りたいと考えます。



黒沢 善行 議員

## 若者支援に向けて 奨学金返還支援制度の 創設を急げ



「奨学金返還支援制度」について、令和3年9月に一般質問を行った。その後の検討結果と、町内企業のニーズ調査の結果は。

A 制度創設について検討を進めてきましたが、限りある財源の中で、少子化対策の一環として、子育て支援や教育環境の充実を優先し、取り組みを展開してきました。

また町内の大手企業に対しアンケートを行ったところ、回答いただいた全ての企業から制度の利用はなく、今後の導入についても現状では予定がないとのことでした。

各自自治体が若者に対して直接的な支援策が見いだせない中で、36都道府県・615市町村に広がった「奨学金返還支援制度」を、町はどのように捉えているか。

A 神奈川県内では33市町村のうち3市2町の導入にとどまっており、また対象者は看護業務や保育士、福祉職や町の奨学金利用者に限定しているなどさまざまで、かつ限定的な

状況であることが多く、全国的に広く普及しているとは言えない状況であると認識しています。

若者への直接的な支援となり、流出抑制につながる奨学金返還支援制度を創設すべきと考えるが町の見解は。

A 20代を中心とする若者は、これからの社会を支える大切な人材であり、企業からも地元採用・地元雇用を望んでいるというご意見を頂いていますので、若者に対する直接的な支援策について改めて検討を進めるよう、関係各課に指示します。



「奨学金」を活用した大学生等の地方定着の促進パンフレット（地方創生サイト）を加工して作成  
([https://www.chisou.go.jp/sousei/about/shougakukin/pdf/r04-06\\_shougakukin\\_panf.pdf](https://www.chisou.go.jp/sousei/about/shougakukin/pdf/r04-06_shougakukin_panf.pdf))





柳下 雅子 議員

### 学校図書館を中核として 子どもたちの学力向上を



**Q** 読書活動は重要な学びの土台と考える。読書活動推進に向けた施策の成果と課題をどう捉えているのか。

**A** 各学校で読書活動や読み聞かせの他、学校図書館の書籍の入れ替えが進むなど小・中学校ともに読書をする子どもが増えました。学校図書館の資料・蔵書等の整備や学校図書館担当職員の充実等、読書推進計画の検証から見えてきた課題に対して改善に向けて努力し、子どもたちの読書推進を図ることが大切と考えます。

**Q** 学校図書館を中核として学力の向上を図ることが肝要と思うが、学力向上の体制をどう構築するのか。

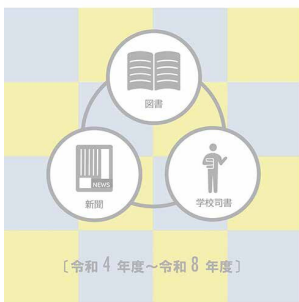
**A** 読書活動については、教育大綱を踏まえ、教育振興基本計画や各年度の教育委員会の重点施策に基づき、小・中学校および総合図書館等において各種取り組みを進めています。

**Q** 教育長の教育に関するビジョンとこれだけはやりたいというものは。

**A** 社会はグローバル化が進み、今以上に予測困難な社会に生きていく

ことが求められます。寒川の子どもたちには、人々から信頼され、はつらつと活動する人間に育ってほしいと思います。また、読書を通じて読解力や想像力、思考力、表現力等を養い、多くの知識を得て多様な文化を理解することができるようになってほしいと願います。総合図書館と学校図書館の連携を深め、子どもの意見を取り入れて、読みたい本が図書館に配置されることで読書意欲につながるなど、子どもたちの意見を取り入れながら寒川の読書活動を骨太にしていきたいと考えています。

概要資料 第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」



文部科学省HPより

([https://www.mext.go.jp/content/20220125-mxt\\_hisui01000020025-01.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20220125-mxt_hisui01000020025-01.pdf))



関口 光男 議員

### 寒川駅周辺の 今後の整備について問う



**Q** 南北のバランスが取れた駅前の整備が必要だと考えるが、駅南側をどのように整備していくのか。

**A** 駅前広場の機能である交通結節点として、バスは既存の転回場を活用しつつ、タクシーや一般車両については駅前で乗降できる案を検討していきます。

**Q** 駅北側にある町有地を今後どのように活用していくのか。

**A** 南口の駅前広場用地を取得するための代替地としていましたが、現在は整備の見込みが立たなくなり、方向性を見いだせていません。

今後、他の公共施設整備を行う際の代替地の可能性もあることから利活用について考えていきます。

**Q** 駅周辺のにぎわい創出の現状は。

**A** 町観光協会をはじめ、さまざまな団体がにぎわい創出に向けた事業を展開しています。

また、町内商業者が中心となったマルシェ実行委員会が新たに組織されるなど、自発的な取り組みも多く

なっています。

**Q** 歩行者利便増進道路（通称ほこみち）制度が国で創設されている。

にぎわい創出の観点から、寒川駅前公園周辺での活用が考えられるが、制度の活用にあたっての要件等は。

**A** 制度を活用する際は、歩行者利便増進道路区間を町が指定します。要件として、快適な生活環境の確保と地域活性化に資すること、沿道住民や関係機関との協議で理解が得られていることなどがあり、制度を利用したい事業者等からの申請があった際は、協議を進めたいと考えます。



「『ほこみち』リーフレット1」  
(国土交通省)を加工して作成

(<https://www.mlit.go.jp/road/hokomichi/pdf/hokomichi-leaflet.pdf>)

## 湘南パスポートセンターを視察しました

総務常任委員会では、11月7日（火）に藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町の2市1町の旅券発給事務を行っている、湘南パスポートセンターを視察しました。



## 寒川町議会基本条例の制定に取り組んでいます

議会改革推進委員会では、11月13日（月）に株式会社自治日報社から講師を招き、『真の政策提言を行う議会になるために～議会基本条例の「共通認識」づくり～』と題して研修・ワークショップを行いました。議員に課せられた使命や条例を制定する目的などについて、委員会内で再確認しました。



条例の制定に当たり、パブリックコメントの募集を行います。よりよい議会づくりのため、皆さまのご意見をぜひお聞かせください。詳細は、二次元コードからご確認ください。



吉田委員長

## 「汐留サイバードーム」「みそのウイングシティ」を視察しました

東海道新幹線新駅対策特別委員会では、11月14日（火）にツインシティ倉見地区のVRを3Dで体験するパナソニック株式会社汐留サイバードーム、埼玉県さいたま市の副都心の1つとして大規模区画整理が施行中の、みそのウイングシティを視察しました。



# 傍聴のススメ

「議会ってなんだか行きづらい…」 「そもそも何をやっているのかよくわからない…」  
そんな風を感じている町民の皆さまも多いかもしれません。  
少しでも議会を身近に感じていただくため、広報広聴委員会が議会の傍聴方法をお伝えします。

／ 柳田副委員長と行く！ ／

## 傍聴までの 3 つのステップ



定例会は原則、  
3月・6月・9月・12月に  
開催だから…。



氏名、住所、  
電話番号を  
記入するだけ  
なんだ！



手続き、  
あっという間！



本会議は  
出入りも自由…。

### Step1

- ☑議会だより（裏表紙）や町議会のHPで会議日程を確認

### Step2

- ☑会議当日、議会事務局で傍聴申出書を記入
- ☑会議資料の受け取り

### Step3

- ☑傍聴

詳細な手続きなど、不明点は議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0467-74-1111  
(内) 341・342

各委員会についても、同様の手順で傍聴が可能です。生の議会の臨場感を、一度体感してみてください！



黒沢委員長

# 令和6年第1回定例会の会期を決定しました

1月会議を1月4日に開催し、第1回定例会の日程を1月4日から12月27日までの358日間に決定しました。

## 議会を傍聴しませんか



傍聴は、当日受付していただければ、どなたでもできます。

寒川町議会のホームページでも、会議の日程や議会の傍聴案内、請願や陳情の手続き、議員名簿等が閲覧できます。

ご不明な点については、議会事務局へお問い合わせください。

●議会事務局 総務担当 TEL 0467-74-1111 (内) 341・342

11ページで傍聴について詳しくご紹介しています!



インターネット  
中継はこちらから



## 議会だよりに広告を載せませんか

さむかわ議会だよりでは有料広告を掲載しています。寒川町議会定例会における議会活動の内容等を掲載している公的な情報誌です。年4回(2月、5月、8月、11月)発行しており、各号、町内全ての世帯に配布しています。

### 広告募集の概要

掲載場所	裏表紙
広告の規格	縦115mm×横85mm
掲載料	1号あたりの掲載料 40,000円
	<b>年間(4号)一括申込による掲載料 144,000円 (1号あたり36,000円)</b>
申込期間	掲載を希望する号が発行される月の3カ月前の1日~3カ月前の20日まで

※広告の原稿は、広告主の負担で作成してください。  
※広告の内容に関する責任は、広告主になります。

## 3月会議日程

日	月	火	水	木	金	土
2/18	19	20	21	22	23	24
		本会議 (議案上程等)		本会議 (議案質疑等)		
25	26	27	28	29	3/1	2
	総務常任 委員会	文教福祉 常任委員会	建設経済 常任委員会		東海道新幹線 新駅対策 特別委員会 寒川北インター チェンジ周辺対策 特別委員会	
3	4	5	6	7	8	9
		本会議 (一般質問)			予算特別 委員会	
10	11	12	13	14	15	16
	予算特別 委員会		予算特別委員会			
17	18	19	20	21	22	23
	予算特別 委員会			本会議 (委員長報告等)		

午前9時開会(会議の日程等は変更になる場合があります)  
※3月1日(金)寒川北インターチェンジ周辺対策特別委員  
会は午後1時15分開会  
※3月21日(木)本会議は午前10時開会

## 表紙解説 さむかわ中央公園周辺の様子

(町ドローンにて撮影)

町では、ドローンを3台所有しています。通常時は町公共施設の点検や風景等の撮影などに使用されています。

また災害時は、人が立ち入れない場所等を上空から撮影し、情報収集を行うなど活躍が期待されています。

表紙の写真は、町立寒川小学校校庭の上空約100メートルから宮山方面に向けて撮影したものです。



▲表紙写真を撮影した実際のドローン